

助産師出向事業の実施状況報告

実施施設	病院→診療所
出向助産師	①助産師歴13年 分娩介助件数 241件
出向期間	①2ヶ月(令和6年10月1日～令和6年11月31日)
出向者の目標	・ローリスク分娩介助を通して助産技術とアセスメント能力の向上。 ・母親学級や育児支援を通して、妊娠～産後までの関わりを学ぶ。 ・妊婦健診や2週間健診、1か月健診の実際を学ぶ。 ・医師と助産師がどのように連携を図っているかを学び、医師とのタスクシフト・タスクシェアに活かす。 ・助産師外来、院内助産実施に向けて学んだことを当院でのケアやシステム作りに還元する。
主な業務内容	・分娩介助10例、帝王切開直接介助1例 ・妊産褥婦、新生児のケア ・産後ケア ・外来業務、保健指導、マザークラス ・乳腺炎のケア
気づき・学び	・分娩進行を自分で判断して行動することで、助産ケアのアセスメント能力の向上に繋がり、患者のパースプランや、性格、背景を考慮し、希望に沿ったケアが実施できた。 ・限られた人数のスタッフと医師一人で、多重課題に対応していた。 ・三次医療機関への搬送のタイミングや新生児搬送について学ぶことができた。
今後取り組みたいこと	(出向元)引き続き出向者に経験を積んでもらい、自施設の助産師の実践能力の向上を目指す (出向者)出向先で学んだ分娩介助技術やアセスメントがさらに向上できるよう、自己研鑽を継続し、後輩育成に活用したい。
成果	・分娩介助を自立して実施したことで以前より自信がついた。 ・出向に消極的であった助産師に経験を伝えることで、出向希望者が増加した。